

子どもの身体寸法データベースご利用にあたっての注意事項

はじめにお読みください	
データの著作権について	データベースの著作権は、一般社団法人日本機械工業連合会が所有しています。
データベースの転載、引用について	データベースを転載、引用する場合には、一般社団法人日本機械工業連合会のデータベースであることを明記してください。
免責事項	人間生活工学研究センターと日本機械工業連合会は、このデータベースに瑕疵があったとしても一切の責任を負いません。また、使用者がデータベースを使用した結果として何らかの損害を被ったとしても、一切の責任を負いません。
説明	
IDについて	IDが同じデータは、同じ子どものデータです。 ID146～395の大部分の子どもは、計測月の異なる2回のデータが存在します。計測項目により、2回とも計測している項目、1回目にものみ計測した項目、2回目にものみ計測した項目が存在します。
計測の精度について	計測値は、子どもの体位(姿勢)に大きく左右されますが、計測に適した姿勢をとり続けることは子どもには難しいことです。 そのため、計測データの信頼性は大人のデータより低くなっています。
同じIDの2回の同じ計測データ再現性について	ID146～395の子どもは、約2ヶ月の期間に2回計測した項目があります。2回とも計測している項目で、1回目の計測値に比べ約2ヶ月後の2回目の計測値(身長等)が低くなっているデータも散見されますが、上記「計測の精度について2」で述べたように、子どもの計測姿勢に由来した誤差が大きいと考えています。
握力計について	子ども用と大人用の2種類の計測器を用いました。 両計測器の使い分けは、大人用が持てる子どもには大人用握力計で計測しました。 子ども用握力計は握ったときに手の平の一部を計測器に挟みやすく、子どもが怖がって力いっぱい握れない傾向があり、また大人用握力計の方が握りやすい傾向でした。そのため、同じ子どもが大人用と子ども用の2種類の握力計で計測した場合、大人用握力計で計測した方が大きな値を得ました。